



赤嶺ヶ丘



文責：教頭 前田

3月号

令和5年3月24日(金)発行

〒894-0622 奄美市笠利町大字笠利 1924 番地

TEL 0997-63-8114

令和4年度を終えるにあたって

校長 久津輪修一

早いもので、令和4年度も、まもなく終わりを迎えます。私自身にとりましても、4月に本校に赴任して、アツという間の1年間だったように感じています。今年度も、熱中症・感染症予防対策等により、いろいろな活動に制限があり、とまどうことも多い1年間でした。このような状況の中でも、生徒全員が、学習や生徒会活動、部活動等に励み、一生懸命頑張ってくれたことを大変うれしく思います。また、本校において、大きな事件・事故等もなく、無事に過ごすことができたことも大変ありがたく思っています。

1学期の修学旅行、宿泊学習、地区総体、2学期の体育大会、文化祭、弁論大会、英語スピーチコンテスト、校内駅伝大会等々、1年間の様々な教育活動を振り返りながら、生徒一人一人の確かな成長を実感しているところです。自分の力を伸ばすために、一生懸命頑張ってくれた生徒の皆さん一人一人に敬意を表しつつ、いつも生徒たちに寄り添い、励まし、見守ってくださっている保護者や地域の皆様の温かい御支援の賜であり、深く感謝いたします。

3年生も、夢の実現を目指して、力強く羽ばたいていくことができました。1・2年生も新しい学年のスタートに向け、気持ちを切り替えているところだと思います。

令和5年度も、今年度と同様に、全職員が一丸となって、生徒の学力・体力の向上、生徒指導の充実に向け、精一杯取り組んで参りますので、引き続きまして、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

先月の全校朝会で話したことを紹介します。

可能性を伸ばしていく考え方

アメリカのスタンフォード大学の心理学教授によると、自分の能力についてどう考えるかで、人は2つのタイプに分かれるそうです。1つめは、「人間の能力は生まれつきのもので、努力しても限界がある」と考えるタイプで、『硬直マインド』といいます。2つめは、「人間の能力は意志と努力の力によって変えられる」と考えるタイプで、『しなやかマインド』といいます。この2つのマインドを比較してみると、『硬直マインド』の人は、周りの人に「よく見せたい」、自分の能力を周囲に証明したいと思う傾向が強いので、「恥をかくから、失敗したくない」と考え、「難しいこと、困難なことはやりたくない」と、行動にブレーキをかけてしまうそうです。一方、『しなやかマインド』の人は、能力は努力によって伸ばすことができると考え、成長することを目的に努力するので、たとえ失敗してもそれを成長へのチャンスとして捉え、「次こそは…」と新たに挑戦しようとするそうです。

皆さんは、どちらのマインドですか？心理学の先生によると、小学生は『しなやかマインド』が多いのですが、中学1年生の頃から『硬直マインド』が急増するそうです。原因としては、周りの人の影響で、「そんなの無理だよ」「夢みたいなことを言ってるんじゃない」という周囲の声に対して、自分自身「やっぱりそうだよな、無理だよな」と思い込んでしまい、自分で制限をかけてしまうからだと思います。自分の可能性や能力を削ってしまうのか、伸ばしていくのかは自分の考え方によるということです。

4月には、在校生は進級し、卒業生は新たな進路へと進みます。それは「人生の大きな節目」であり、「自分自身を変える大きなチャンス」でもあります。考え方ひとつでこれからの人生が大きく変わってきます。自分の中に根拠のない限界を作らず、夢や目標の実現に向け努力してほしいと思います。

マングローブカヌー体験

3月8日に、奄美市のコロナ対策事業の一環で、今年度も住用のマングローブパークにカヌーを体験に行ってきました。今年はカヌー体験に加えて、奄美大島世界遺産センターで学習することもできました。3年生との最後の自然体験活動、みんなで良い思い出をつくることができました！



奄美市立笠利中学校 第75回卒業式

3月14日(火)に、第75回卒業式を挙行了いたしました。今年度は13人の卒業生でしたが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小しての開催となりました。そのような中でも、多くの祝辞や祝詞をいただき、卒業生の晴れの門出を厳粛に祝うことができました。また、永田和那さんの卒業生答辞、川上菜里さんの在校生送辞、肥後智子さんの保護者代表のあいさつは、会場に臨席している人々の心をつつ内容で、とても感動しました。卒業生の進路はそれぞれ異なりますが、これからは「赤嶺会」の一員として、飛躍してくれることを願っています。これからの活躍を楽しみにしています。また、卒業記念もいただきました。卒業生及び卒業生保護者の皆様、本当にありがとうございました。



令和5年度教職員人事異動 転出者紹介

令和5年度の人事異動に伴い、次の6名が転出することになりました。

- 前田 雅憲 教頭 : 始良市立帖佐中学校へ
- 野口 淑子 教諭(音楽) : 奄美市立芦花部中学校へ
- 吉留 幸二 事務主幹 : さつま町立中津川小学校へ
- 沖田 優子 養護教諭 : 退職
- 西留 譜美 特別支援員 : 退職
- 中村 ゆり子 校務員 : 退職

在任中は、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。本来でしたら、送別会等でお礼を申し上げるべきところですが、コロナ禍ということもありまして、本紙面をもって御挨拶に代えさせていただきます。笠利中学校で学んだことを胸に、新天地でも活躍してくれることを願っています！

教頭として過ごした笠利中学校の3年間はとても楽しく充実した日々でした。ちょうどコロナの真っ只中の3年間で、地域行事に参加できなかったのがとても心残りですが、また次の学校でも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。前田雅憲

1年間ありがとうございました。コツコツ努力する姿や困っている友達に声をかける姿など…みなさんの素直で一生懸命な姿を目にするたびに皆さんの傍らで成長を見られることをとても嬉しく思っていました。どうぞ、時には自分の頑張りを振り返りながらこれからの学校生活も存分に楽しんでください。西留譜美

笠利中では4年間お世話になりました。校舎改築前で旧校舎でも過ごすことができ、プレハブ校舎を経て新校舎に入りました。コロナ禍で奄美観光はあまりできませんでしたが生徒と過ごしたことは一生の思い出です。これからも笠利中がますます発展することを願っています。本当に有難うございました。吉留幸二

「唄のシマ」と奄美は評されますが、まさに笠利は「唄のシマ」だと本校に来て実感しました。子どもたちの声の美しさ、音楽性の豊かさにも癒されてきました。コロナ禍の中、歌っていませんでしたが生徒と過ごしたことは一生の思い出です。これからも実践していくことを願います。野口淑子

素直で明るく元気な生徒の皆さんに、たくさんの元気と感動をもらった2年間でした。保護者の皆さんにも、色々な面でたくさんの御協力とご支援をいただきました。この素晴らしい学校で退職できることをとても幸せに思い、心より感謝しています。有難うございました。笠利中学校が、今後もますます素晴らしい学校になりますようお祈りしています。沖田優子

1年間お世話になりました。ありがとうございました。皆さんの活躍を期待しています。中村ゆり子

受賞おめでとう!!

第42回大島地区中学校6人制バレーボール大会(男子の部)

第3位 肥後 祥樹(赤木名中と合同)

第42回大島地区中学校6人制バレーボール大会(女子の部)

第6位 濱地咲笑 奈良歩美 中野藍恵 中村伶来 川上奈那 前田 蓮

4月の主な行事

6	木	新任式 始業式 第76回入学式 ノー部活デー	13	木	ノー部活デー	20	木	家庭訪問(金久) ノー部活デー
7	金	身体計測 学校生活オリエンテーション 生徒会対面式	16	日	市民清掃日	21	金	家庭訪問(辺留、須野、佐仁)
4	10	月	4	17	月	4	22	土
		NRT検査 知能検査(1年)			家庭訪問(城前田、用)			北大島中学校バレーボール大会~23日 (22日本校体育館会場)
	11	火		18	火		25	火
		NRT検査 避難訓練 交通安全教室・不審者対策			全国学力・学習状況調査(3年) 検尿1次 放課後の活動			職場体験学習(2・3年)~27日 集団宿泊学習(1年)~26日
	12	水		19	水		27	木
		心臓検診			家庭訪問(里前) 検尿1次 生徒会専門部会 PTA新旧役員会			休養措置日

4月6日(木)に、第76回入学式が挙行されます。今回までは卒業式と同様、新型コロナウイルス感染症対策として、来賓等規模を縮小して行いたいと思いますので、御理解の程よろしくお願いいたします。